

- 一方、2014 年から 2020 年については、予算額 800 億€規模の新たなファンディングフレームワークである「Horizon 2020」の下、研究開発を推進する予定である。Horizon 2020 は、現在三つのプログラムで提供されている EU の研究・イノベーション関連のファンディングを、単一の一貫性を持ったフレキシブルなフレームワークに統合する（図 1-20、図 1-21）。

➤ 現在の 3 つのプログラム

- ◇ 研究と技術開発のためのフレームワークプログラム (Framework Programme for Research and Technological Development(FP))
- ◇ 競争力・イノベーションフレームワークプログラム(Competitiveness and Innovation Framework Programme (CIP))
- ◇ 欧州イノベーション・技術機構(European Institute of Innovation and Technology(EIT))

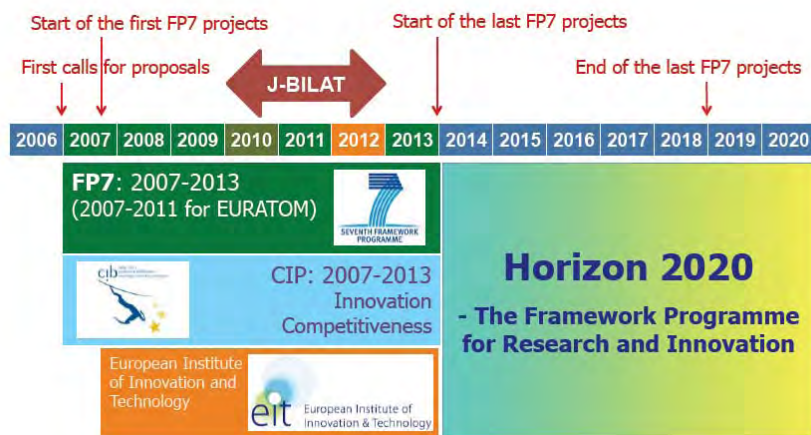


図 1-20 : 3 ファンディングフレームワークの Horizon2020 への統合

(出典) Toshiyasu ICHIOKA, “From FP7 to HORIZON2020”, J-BILAT 2012 Seminar No.1 EU/Japan Innovation Strategy and Cooperation in R&D Tokyo, 23rd April 2012,

(http://www.j-bilat.eu/documents/seminar/as_1/presentation_as1_ti.pdf)

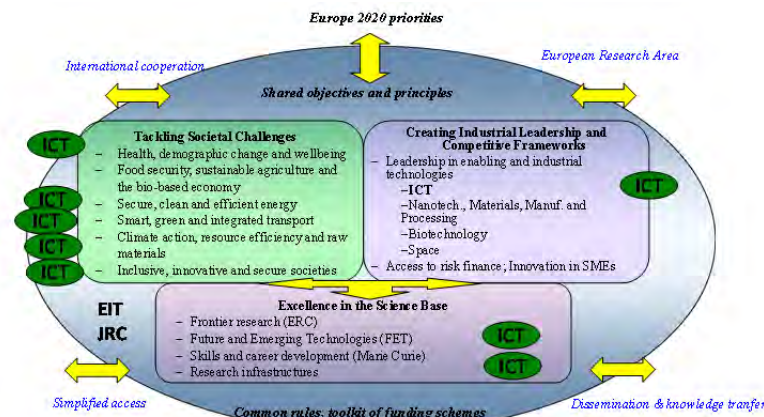


図 1-21 : Horizon2020 の目的と構造

(出典) Ljubljana, “Future Networks Research in FP7 and H2020,” April 2012

(<https://ripe64.ripe.net/presentations/225-RIPE64.pdf>)

1.2.3. 韓国

- 韓国政府は2009年9月に5大IT戦略を発表し、ITと造船、エネルギー、自動車など10種類の産業のIT分野との融合を推進(自動車・造船・医療・繊維・機械・航空・建設・国防・エネルギー・ロボット)している。
- 韓国最大の研究支援専門機関である韓国研究財団(NRF)が、2.9兆ウォン(2011年時点、日本円で総額2030億円、2009年は2.6兆ウォンで韓国政府研究開発予算の21.1%に相当)を配分。

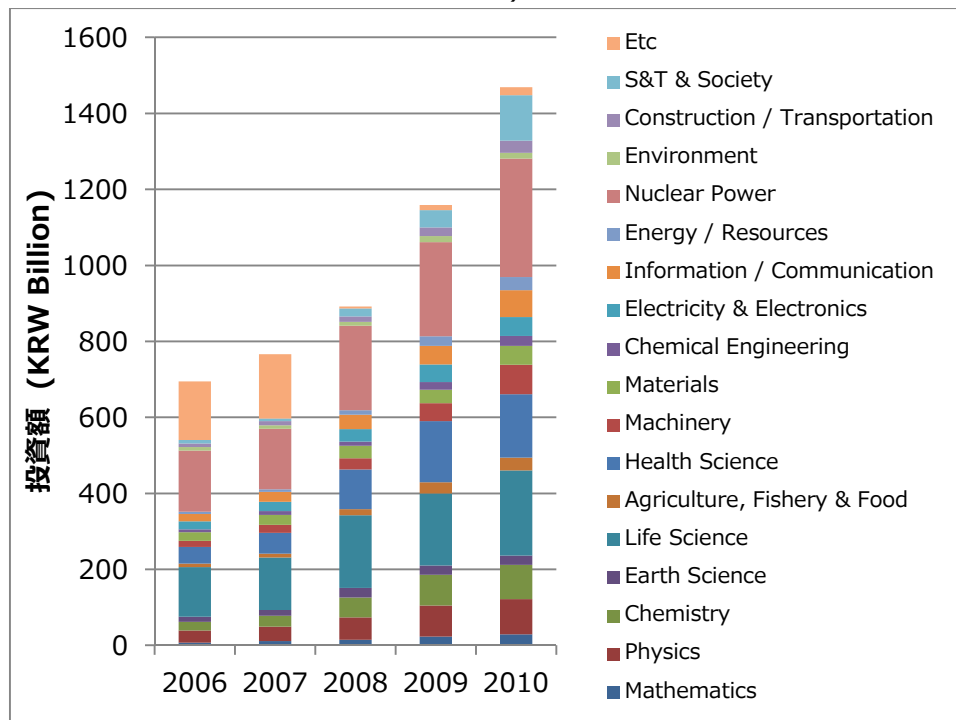


図 1-22 : 研究領域別の研究開発投資額の推移

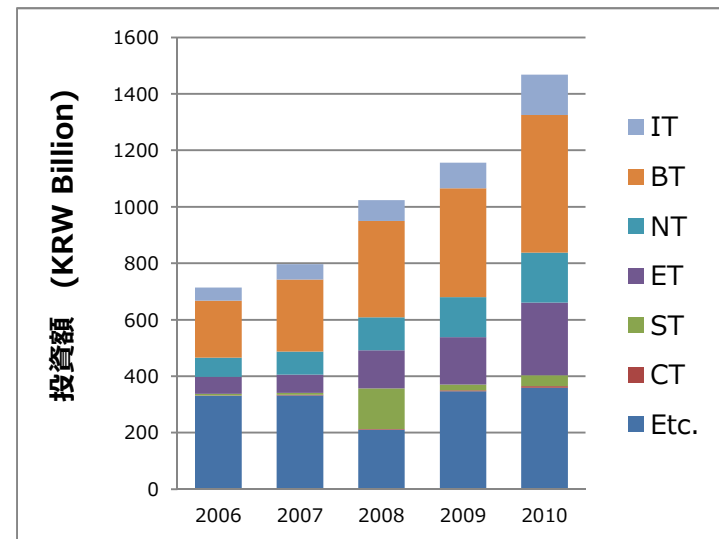


図 1-23 : 技術領域別の研究開発投資額の推移

■ IT(Information Technology), ■ BT(Biology Technology),
 ■ NT(Nano Technology), ■ ET(Environment Technology),
 ■ ST(Space Technology), ■ CT(Culture Technology)

(出典) NRF ホームページに記載のデータを元に内閣府作成